

横浜市南区六ッ川大池地区連合会自治会にて災害派遣講話

神奈川地方協力本部（本部長 松田 辰雄 1等海佐）は、9月1日（火）の「防災の日」、横浜市南区六ッ川大池地区連合会自治会の防災勉強会において、災害派遣講話（講師 渉外広報室広報幹部 大塚 2陸尉）を行った。

勉強会は、第1部「大震災時における自衛隊の救済活動」と、第2部「横浜市消防署六ッ川出張所所長の講話及び煙体験」の2部構成で行われた。

大震災時における自衛隊の救済活動については、平成25年の伊豆大島災害派遣行動記録及び平成23年の東日本大震災奮闘記の2本のDVD視聴と、「命を守る」ということを主題に、災害への準備段階での対応・地震発生時・発生後の対応行動及び災害対処マニュアルの重要性について市民に分かりやすく説明を行った。

神奈川地本は、「今後も、講話などの機会を通じて自衛隊の活動状況を積極的にPRし、自治体との連携強化に努めていく」としている。



講話をする大塚2陸尉

UH-1 体験搭乗を満喫 ～曇り空でも最高のフライトを～

神奈川地方協力本部（本部長 松田 辰雄 1等海佐）は、9月5日（土）、立川駐屯地において東部方面ヘリコプター隊の支援を受け、UH-1の体験搭乗（30名）を実施した。

当日は先ず、ヘリを囲んで東方ヘリ隊（難波2陸尉）による安全教育が行われ、特にパネルを使った説明はとても分かりやすく、初めて聞くヘリコプターの説明に皆、興味深そうに聞き入っていた。その後、UH-1を背後に記念撮影、5フライトに分かれて体験搭乗を行った。曇り空で遠くの景色は見渡せなかったが、「その分フライトで楽しませますよ」と言う頼もしい機長（田中1陸尉）の言葉どおり、最高の体験搭乗を実施することができた。

体験搭乗を終えた搭乗者からは、「ヘリの中でいろいろ案内をしてくれて、とても楽しかったです！」と、興奮した様子で話していた。

神奈川地本は、「今後も、自衛隊をアピール出来る各種イベントを積極的に計画し、広報に努めていく」としている。

搭乗前の安全説明をする
東方ヘリ隊（難波2陸尉）

フライト中のUH-1



搭乗するヘリの前での記念撮影

平成27年度秦野市総合防災訓練支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、9月6日（日）、秦野市立西中学校をメイン会場とした秦野市総合防災訓練を支援した。

訓練には市民及び関係機関約4000人が参加し、自衛隊の訓練については、平塚地域事務所による自衛隊の各種災害派遣の写真パネル展示と第4施設群による、帰宅困難者の輸送訓練を支援した。

同事務所が開設したブースでは、自衛隊の募集・広報を行うとともに、子供用の戦闘服試着コーナーも設け、多くの子供たちが記念撮影をするなど大変好評であった。市民の皆さんからは「自衛隊の存在が市民の安心につながっている、ありがとう。頑張ってください」との声も多く聞かれた。また、ブースには古谷秦野市長も訪れ、日頃の活動と防災意識の高揚を促す防災訓練への支援に対し、感謝の言葉と今後の自衛隊に対する期待が述べられた。

平塚地域事務所は、「今後も、こうした防災訓練支援及び広報活動を積極的に継続していき、自衛隊の活動への理解を深めていく」としている。



防災訓練開始

広報ブース・
災害パネル等展示

災害に備えて